

スクリーニングの手順

記載の有無 **あり**
※表紙①に反映されます

病院名: **大阪大学医学部附属病院**

期間: 平成26年9月1日現在

スクリーニングの項目、対象、方法、タイミング、スクリーニングした結果の確認者、スクリーニング結果の活用方法等についてご記載ください。

役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙16とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 **なし** (あり・なし)
ファイル形式 **Word** (ワード、一太郎、リッチテキスト、エクセル、パワーポイント、PDF、その他)
その他の場合ファイル形式を記載してください。

1. 緩和ケアスクリーニングの目的

身体的・精神的苦痛がある患者を早期に同定して、専門家への相談を含めた対応を取れる様にする。

2. 対象患者

がん治療あるいはがんに伴う症状の緩和目的で1週間以上の入院予定がある患者

* 病期は問わない(早期、進行期、終末期)

3. スクリーニング手順

1) 緩和ケアスクリーニングシート(スクリーニングシート)出力からカルテスキャンまで

① 担当看護師がシートを印刷する(スキャンメニュー→その他→入退院→緩和ケアスクリーニングシート: 図1)。

② 担当看護師がシートを患者に手渡し記入をしてもらう。

* 患者に記載してもらっても、看護師が聞き取って記載してもよい。

③ 3日以内(当日の回収が望ましい)に回収し所定の場所におく。

④ 緩和ケアチームナース(PCTNs)がシートを回収する(原則平日15時以降)

⑤ スクリーニングシートはPCTNsがカルテスキャンする(原則当日)。

2) スクリーニング結果への対応手順

「つらい症状や気持ちのつらさがあるが現在の治療(サポート)に満足している
→症状の変化に注意ながら経過観察する。

「つらい症状や気持ちのつらさがあり、対応を希望する」

「専門家への相談を希望しない場合」

→主治医に報告して対応する。

「専門家への相談を希望する場合」

主治医に報告して、以下のいずれかの対応を検討する。

(ア) 緩和ケアチームに相談(依頼不要)

(イ) 緩和ケアチーム介入依頼(患者の同意が必要)

* 主治医の同意を得て、患者(家族)に緩和ケアチームのご案内(図3)を手渡し説明する。

(ウ) 他の専門家(*)に依頼する(緩和ケアチームへの依頼は不要)

* 他の専門家とは: 臨床心理士(心のケアチーム)、麻酔科がん疼痛緩和外来、精神科医など

4 補足

入院中に緩和ケアチームが介入していない患者で、退院後、症状の増強が想定される場合は、退院前に「退院される患者さんへ」(図2)を手渡す(入院中に初回外来予約を入力)。